

## マレーシア編

### 訪日旅行者数はASEAN加盟国第3位

ビジット・ジャパン（VJ）事業における重点20市場の一つであるマレーシアは、2015年における訪日旅行者数が前年比22%増の305,000人を記録し、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国としては、タイ、シンガポールに次ぐ規模の市場となっています。

#### ビザ自由化で訪日旅行者が増加

マレーシアの人口は3,026万人、国民一人当たりのGDPは1万8,044米ドル（何れも2014年）で、マレーシアからの出国者数は、陸路でのシンガポールへの訪問者数も含めて452,222万人（2011年）に達しており、出国率は単純計算で150%近い高水準となります。各国の受入統計によると、2014年におけるアジア各国・地域へのマレーシア人旅行者は、タイが264万4,000人、インドネシアが141万8,000人、シンガポールが



MATTA FAIR 2014

123万3,000人（空路と海路での入国）、中国が113万人を数えています。

日本では2013年7月から、90日までの短期滞在で観光・親族訪問・短期商用などを目的とする訪日マレーシア人については、国際民間航空機関（ICAO）基準に準拠したIC二般旅券を所持している場合、査証取得勸奨を終了し、いわゆるビザの自由化を実施しました。この結果、訪日マレーシア人旅行者数は、2013年が前年比36%増の17万6,521人、2014年が同41%増の24万9,521人、2015年が同22%増の30万5,447人と順調に増加してきています。

#### ランドオペレーターによる需要創出も

日本を訪れるマレーシア人旅行者の場合、その特徴が地域別に異なっているように思われます。

例えば、クアラルンプールを中心とした地域では、既にリーダーによるFIT化が進んでおり、旅行商品の購入先も、オンライン・トラベルエージェント（OTA）経由での購入傾向が顕著となってきました。

一方、中華系旅行会社の比率が高いと言われているペナンや、クアラルンプールに

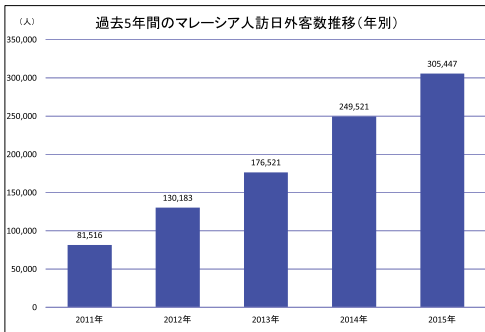
次ぐ第2の都市であるジョホールバル、コタキナバルなどの都市を中心とした地域では、日本についての情報がまだ限られていることから、旅行会社を通じた団体旅行による旅行商品の購入比率が高く、ランドオペレーターの力量によって需要を創出する可能性が残されています。

マレーシアと日本を結ぶ航空路線では、マレーシア航空や本邦キャリアに加え、3年ほど前から日本への乗り入れを開始したエアアジアXが増便を進めるなど、LCCを利用して日本を訪れる旅行者も着実に増加してきています。

#### 訪日旅行では年2回のピークシーズン

過去3年間における訪日マレーシア人旅行者の月別推移をみると、大きなピークシーズンは2回あることを示しています。

一つは春先の桜シーズンで、訪日インバウンド需要が拡大する中、他の主要市場でも見られる傾向で



年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
2013年	7,609	10,982	13,401	14,716	15,013	9,802	9,929	10,951	11,681	17,760	26,153	28,524	176,521
2014年	13,981	14,109	23,372	25,166	22,607	17,029	16,249	9,938	16,083	24,020	27,682	39,305	249,521
2015年	12,312	19,269	28,193	29,556	25,797	18,525	19,954	12,301	21,307	28,488	39,481	50,264	305,447

出典：日本政府観光局（JNTO）

す。もう一つのピークシーズンは年末の12月ですが、これは、マレーシアでは多くの州で11月末から12月にかけて学年末休暇となるため、マレーシアからの旅行需要が大きく伸びる時期となっています。

また、反対に、イスラム教の断食明けの休暇に当たる7～8月は最も需要が少ない時期となるのも、マレーシアならではの特徴と言えます。

JATAとマレーシア政府観光局は、マレーシアを訪れる日本人旅行者を100万人にすることを目指して2012年4月に「マレーシア100万人プロジェクト」の覚書を締結して以来、共同で様々な活動を実施してきました。2015年10月からの第2弾では、活動の継続による目標達成の可能性拡大、教育旅行やロングステイなどマレーシアの有望コンテンツの開発を通じたアジア全体のダイナミズム加速、アジア大交流時代に活躍できるグローバル人材育成などに取り組み、一定の成果を収めています。

#### マレーシア国内最大規模の旅行見本市 MATTA FAIR

マレーシアはイスラム教徒のみの国と思われがちですが、実際には、民族構成が複雑な多民族国家です。主な民族は、マレー系が約67%、中国系が約25%、インド系が約7%で、旅行業協会も、マレーシア旅行業協会（MATTA）のほかに、Malaysian Bumiputera Association of Tour and Travel Agents' Malaysian Chinese Tourism Association などがあります。

MATTAが主催するMATTA FAIRは、マレーシア各地で年間に10回以上開催されており、3月と9月に開催されるものが最大規模のもので、出展ブース数は1000以上、来場者数は10万人以上に達しているようです。